

AFS年間派遣プログラム

2013年
第60期

奨学金のご案内

奨学金応募のご案内

『AFS年間派遣プログラム 2013年派遣 プログラム案内』の61-62ページ「④奨学金のご案内」では、AFS年間派遣プログラム派遣生を対象として支給される奨学金の奨学金支給法人・団体をご案内しています。

本冊子では、以下の応募書類の提出先別でご案内します。

- (1) 応募書類の提出先が(公財)AFS日本協会の奨学金 ※本冊子1ページと、3ページ以降の奨学金別募集概要、奨学金申込書をご覧ください。
 (2) 応募書類の提出先が奨学金支給法人・団体の奨学金 ※本冊子2ページと、奨学金申込予定通知書をご覧ください。

奨学金を希望する場合、「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」に記載された個人情報を奨学金支給法人・団体に開示します。また、奨学金支給選考において、奨学金支給法人・団体から要望があった場合は、AFS年間派遣プログラム選考試験結果を、奨学金支給法人・団体に開示します。予めご了承ください。

(1) 奨学金応募書類の提出先が(公財)AFS日本協会の奨学金

	奨学金名	奨学金支給法人・団体	支給額	対象者	人数	他奨学金との		奨学金別概要
						併願	併給	
全国対象	アメリカ大使館 高校生留学奨学金	在日米国大使館	125万円	日本全国の高校・中学に在学するアメリカ留学希望者	4名 予定	可	不可	3 ページ
地域限定	AFSどさんこ奨学金	AFSどさんこ奨学金	50万円	北海道内の高校・中学の在学者	1名	可	不可	4 ページ
	みちのく応援奨学金	(公財)AFS日本協会	150万円 (25万円) (準備金含む)	東日本大震災発生時に被災地に居住または在学していた者	3名 程度	可	不可	5 ページ
	ジャパン・ソサエティー みちのく応援奨学金	ジャパン・ソサエティー	150万円 (25万円) (準備金含む)	東日本大震災発生時に被災地に居住または在学していたアメリカ留学希望者	10名	可	不可	7 ページ
	JFAMみちのく応援奨学金	JFアセット・ マネジメント 有志一同	150万円 (25万円) (準備金含む)	東日本大震災発生時に被災地に居住または在学していた者	1名	可	不可	9 ページ
	財団法人田口福寿会 奨学金制度	(財)田口福寿会	50万円	岐阜県内在住で、県下の高校・高専在学者	10名 以内	可	可	11 ページ
	AFSひろしま奨学金	AFSひろしま奨学金	50万円	広島県内在住で、県下の高校・中学の在学者	1名	可	不可	12 ページ
条件付	オデッセイIT奨学金	(株)オデッセイ コミュニケーションズ	50万円	(株)オデッセイコミュニケーションズが実施する資格の取得、又は、IT分野における国家資格を持つ者	4名	可	不可	13 ページ
	AFSボランティア奨学金	AFSボランティア奨学金	50万円 (25万円支給 25万円貸与)	日本全国の高校・中学に在学する経済的必要度の高い者	6名	可	可	15 ページ

<上記の奨学金に関する詳細>

- お問い合わせ先：(公財)AFS日本協会 (TEL 03-6206-1919)
- 3ページ以降の奨学金別募集概要をご覧ください。

<上記の奨学金の応募について>

- 「奨学金申込書および奨学金申込予定通知書」に記入し、各奨学金で定められている提出書類を「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒にAFS日本協会に提出してください。

(2) 奨学金応募書類の提出先が奨学金支給法人・団体の奨学金

	奨学金支給法人・団体 または奨学金名	支給額	対象者	人数	問合せ先
地域 限定	(公財)新潟市国際交流協会	一部	保護者が新潟市内に住所を有している者、又は、新潟市学校区域内の高校在学者	3名 予定	〒951-8055 新潟市中央区礎町通三ノ町2086番地 TEL：025-225-2727
	(財)長岡市米百俵財団	125万円	新潟県下の高校・高専1学年もしくは2学年に在学する者(長岡市内に引き続き1年以上居住する世帯の子弟)	3名 予定	〒940-8501 長岡市大手通1-4-10 シティホールプラザアオーレ長岡 (長岡市総務部庶務課内) TEL：0258-39-2203
	小松市	一部	小松市在住の高校・高専生	若干名	〒923-8650 小松市小馬出町91 小松市役所空港・地域交流課 TEL：0761-24-8039
	(財)福岡市教育振興会	上限 50万円迄	保護者が福岡市在住で、当会が指定する県下の高校・高専生	10名 程度	TEL：092-721-1709
	佐賀県	100万円 (全額貸与)	佐賀県が行う海外留学奨学金の対象となる者	未定	佐賀県教育庁教育支援課総務担当 TEL：0952-25-7223
条件 付	イトーヨーカドースカラシップ	125万円	セブン & アイ HLDGS.各社の正社員・パートナー社員(1年以上勤務)の子弟	10名	(財)伊藤謝恩育英財団内 米国伊藤財団 TEL：03-3512-5800 iy-scholarship@ito-foundation.or.jp
	小川奨学財団奨学金	125万円	大宮化成株式会社及び関係先会社の役員及び社員の子弟で、中学3年～高校2年に在学する男女	若干名	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-8 TEL：03-3662-3275
	ソニーグループ国際教育基金	125万円	ソニーグループ企業社員の子ども・弟・妹・甥・姪・孫で、海外年間派遣決定者	若干名	〒140-0001 東京都品川区北品川4-2-1 御殿山アネックス2号館 (公財)ソニー教育財団内 ソニーグループ国際教育基金事務局 TEL：03-3442-1005

<上記の奨学金に関する詳細>

- 本冊子には記載していません。各奨学金支給法人・団体に直接お問合せください。

<上記奨学金の応募について>

- 奨学金の応募・その他手続き等については、各奨学金支給法人・団体に問合せ、各奨学金支給法人・団体の定める方法に従ってください。
- 上記奨学金の応募を予定している場合は、「奨学金申込書および奨学金申込予定通知書」に記入し、「2013年 AFS 年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に AFS 日本協会に提出してください。

アメリカ大使館高校生留学奨学金

(Toshiyuki Tanaka/American Embassy Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	在日米国大使館
趣旨	アメリカの高校に日本の高校生を派遣することにより、青少年の国際相互理解と国際友好を促進し、将来国際的に活躍する人材の育成を図ることを目的とします
対象	日本全国の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中にアメリカに留学を希望する者
留学期間	2013年8月～2014年6月(予定)
留学先	AFSが留学先として派遣しているアメリカの高校
募集人数	4名予定
奨学金支給額	AFSプログラム参加費(125万円)を支給 それ以外の経費(選考手数料、パスポート・ビザ取得費、国内交通費など)はすべて個人負担
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②成績優秀かつ経済的必要度の高いこと ③国際相互理解、異文化体験に興味と意欲があること ④健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑤本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと
応募の手順と 提出書類	「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー(2部)を郵送。コピー1部は本人控え ②保護者の直近の財政状況を証明するもの(課税証明書のコピー) ※所得合計が記載されていること ③家族状況通知書(本冊子巻末)
応募締切	一般選考A日程受験者 6月 5日(火) 一般選考B日程受験者 7月10日(火) ※当日消印有効
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考(A日程:6月17日またはB日程:7月22日)に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と提出書類に基づきアメリカ大使館が奨学金の受給者を決定します
奨学金支給 選考結果通知	2012年8月下旬予定(AFS日本協会より本人宛に通知します)
その他	●奨学生の義務 ①出発前および帰国後にアメリカ大使館を表敬訪問する ②留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する(英文で書くこと) ③表敬訪問、帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる

AFS どさんこ奨学金

(AFS “Dosanko” Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	AFSどさんこ奨学金
趣旨	本奨学金は北海道を愛し応援する個人と企業の支援により設立されたもので、AFS年間派遣プログラムを通じて北海道の高校生を海外に派遣することにより、青少年の国際相互理解と国際友好を促進し、未来の北海道と日本を担う人材を育成することを目的としています
対象	北海道内の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	1名
奨学金支給額	AFSプログラム参加費の一部として、50万円を支給 ※50万円を超える参加費およびそれ以外の経費(選考手数料、パスポート・ビザ取得費、国内交通費など)はすべて個人負担
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②学業、人物ともに優秀であること ③国際相互理解、異文化体験に興味と意欲があること ④健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑤本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと
応募の手順と 提出書類	「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー(2部)を郵送。コピー1部は本人控え ②作文 テーマ:「北海道・私・世界」 文字数:800字以内(A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可)
応募締切	一般選考A日程受験者 6月 5日(火) 一般選考B日程受験者 7月10日(火) ※当日消印有効
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考(A日程:6月17日またはB日程:7月22日)に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と作文に基づき奨学金の受給者を決定します
奨学金支給 選考結果通知	2012年8月下旬予定(AFS日本協会より本人宛に通知します)
その他	●奨学生の義務 ①留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する ②留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる

みちのく応援奨学金

(“Michinoku” Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	みちのく応援奨学金
趣旨	公益財団法人AFS日本協会が「みちのく応援奨学金基金」を設立し、東日本大震災と福島原発事故により大きな被害を受けた地域の中・長期的な復興を支援するため、地域と世界をつなぎつつ地域の未来を担う人材を育成する
対象	東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地 [*] に居住又は在学していた者で、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者 ※ 被災地 青森県・岩手県・宮城県・福島県の全域、 および茨城県・千葉県で災害救助法が適用されている以下の自治体 茨城：水戸市・日立市・土浦市・石岡市・龍ヶ崎市・下妻市・常総市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・笠間市・取手市・牛久市・つくば市・ひたちなか市・鹿嶋市・潮来市・常陸大宮市・かすみがうら市・桜川市・神栖市・行方市・銚田市・つくばみらい市・小美玉市・東茨城郡茨城町・東茨城郡大洗町・東茨城郡城里町・那珂郡東海村・久慈郡大子町・稲敷郡阿見町・稲敷郡美浦村・稲敷郡河内町・那珂市・筑西市・稲敷市・北相馬郡利根町 千葉：旭市・香取市・山武市・山武郡九十九里町・千葉市美浜区・習志野市・我孫子市・浦安市 (2011/5/9時点)
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	3名程度
奨学金支給額	AFSプログラム参加費(125万円)および25万円の留学準備金と維持会費(5,000円) + 1年分の年会費(5,000円)を支給。それ以外の経費はすべて個人負担 ※留学準備金(25万円)は、プログラム参加費に含まれない諸雑費などに充てる費用。プログラム案内60ページ参照
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②学業、人物ともに優秀であること ③AFS日本協会が経済的必要度が高いと判断する者 ④国際相互理解、国際友好、異文化体験に興味と意欲があること ⑤健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑥本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと

応募の手順と提出書類	<p>「2013年 AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接 AFS日本協会に提出する</p> <p>①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー（2部）を郵送。コピー1部は本人控え</p> <p>②被災状況通知書（本冊子巻末） 奨学金を希望する理由（被災の状況との関連で）を、経済的状況も含め、保護者が記入してください</p> <p>③作文 テーマ：震災の体験を踏まえて、自分の将来設計に留学体験をどう生かすかについて述べてください。被災地の復興に絡めた内容でも結構です。タイトル自由 文字数：800字以内（A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可）</p> <p>④東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地に居住又は在学していたことを証明するもの（在学証明書または住民票または生徒手帳のコピーのいずれか1つ） ※ジャパン・ソサエティーみちのく応援奨学金およびJFAMみちのく応援奨学金を併願する場合、上記②～④の書類は流用可（コピー不要）</p>
応募締切	<p>一般選考A日程受験者 6月 5日（火） 一般選考B日程受験者 7月10日（火） 一般選考C日程受験者 9月25日（火） 一般選考D日程受験者 11月 6日（火）</p> <p>※当日消印有効 ※但し、A・B日程で定員に達した場合には、C・D日程での応募は受付ません</p>
選考方法	<p>本奨学金に応募し、2013年 AFS年間派遣プログラムの一般選考（A日程：6月17日またはB日程：7月22日またはC日程：10月8日またはD日程：11月18日のいずれか）に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と提出書類に基づき、奨学金の受給者を決定します</p>
奨学金支給 選考結果通知	<p>A・B日程受験者：2012年 8月下旬予定 C日程受験者：2012年11月上旬予定 D日程受験者：2012年12月上旬予定 （AFS日本協会より本人宛に通知します）</p>
その他	<p>●奨学生の義務</p> <p>①2012年9月2日実施予定の授与式に出席すること。詳細については合格者に通知する。 C・D日程以降の合格者には、別途通知予定</p> <p>②留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する</p> <p>③留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する</p> <p>●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年 AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる</p>

ジャパン・ソサエティー みちのく応援奨学金

(“Japan Society Michinoku” Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	ジャパン・ソサエティー
趣旨	ジャパン・ソサエティーは、ニューヨークに本部を置く日米のビジネス、文化等の交流を手がける非営利団体。東日本大震災と福島原発事故により大きな被害を受けた地域の中・長期的な復興を支援するため、地域と世界をつなぎつつ地域の未来を担う人材を育成することと、被災地の高校生に異文化体験の機会を提供することにより夢を与えることを目的として、奨学金の支給を行う
対象	東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地 [*] に居住又は在学していた者で、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中にアメリカに留学を希望する者 ※ 被災地 青森県・岩手県・宮城県・福島県の全域、 および茨城県・千葉県で災害救助法が適用されている以下の自治体 茨城：水戸市・日立市・土浦市・石岡市・龍ヶ崎市・下妻市・常総市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・笠間市・取手市・牛久市・つくば市・ひたちなか市・鹿嶋市・潮来市・常陸大宮市・かすみがうら市・桜川市・神栖市・行方市・銚田市・つくばみらい市・小美玉市・東茨城郡茨城町・東茨城郡大洗町・東茨城郡城里町・那珂郡東海村・久慈郡大子町・稲敷郡阿見町・稲敷郡美浦村・稲敷郡河内町・那珂市・筑西市・稲敷市・北相馬郡利根町 千葉：旭市・香取市・山武市・山武郡九十九里町・千葉市美浜区・習志野市・我孫子市・浦安市 (2011/5/9時点)
留学期間	2013年8月～2014年6月(予定)
留学先	AFSが留学先として派遣しているアメリカの高校
募集人数	10名
奨学金支給額	AFSプログラム参加費(125万円) および25万円の留学準備金と維持会費(5,000円) + 1年分の年会費(5,000円) を支給。それ以外の経費はすべて個人負担 ※留学準備金(25万円)は、プログラム参加費に含まれない諸雑費などに充てる費用。プログラム案内60ページ参照
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②学業、人物ともに優秀であること ③AFS日本協会が経済的必要度が高いと判断する者 ④国際相互理解、国際友好、異文化体験に興味と意欲があること ⑤健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑥本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと

応募の手順と提出書類	<p>「2013年 AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接 AFS日本協会に提出する</p> <p>①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー（2部）を郵送。コピー1部は本人控え</p> <p>②被災状況通知書（本冊子巻末） 奨学金を希望する理由（被災の状況との関連で）を、経済的状況も含め、保護者が記入してください</p> <p>③作文 テーマ：震災の体験を踏まえて、自分の将来設計に留学体験をどう生かすかについて述べてください。被災地の復興に絡めた内容でも結構です。タイトル自由 文字数：800字以内（A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可）</p> <p>④東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地に居住又は在学していたことを証明するもの（在学証明書または住民票または生徒手帳のコピーのいずれか1つ） ※ジャパン・ソサエティーみちのく応援奨学金およびJFAMみちのく応援奨学金を併願する場合、上記②～④の書類は流用可（コピー不要）</p>
応募締切	<p>一般選考A日程受験者 6月 5日（火） 一般選考B日程受験者 7月10日（火） 一般選考C日程受験者 9月25日（火） 一般選考D日程受験者 11月 6日（火）</p> <p>※当日消印有効 ※但し、A・B日程で定員に達した場合には、C・D日程での応募は受付ません</p>
選考方法	<p>本奨学金に応募し、2013年 AFS年間派遣プログラムの一般選考（A日程：6月17日またはB日程：7月22日またはC日程：10月8日またはD日程：11月18日のいずれか）に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と提出書類に基づき、奨学金の受給者を決定します</p>
奨学金支給 選考結果通知	<p>A・B日程受験者：2012年 8月下旬予定 C日程受験者：2012年11月上旬予定 D日程受験者：2012年12月上旬予定 （AFS日本協会より本人宛に通知します）</p>
その他	<p>●奨学生の義務</p> <p>①2012年9月2日実施予定の授与式に出席すること。詳細については合格者に通知する。 C・D日程以降の合格者には、別途通知予定</p> <p>②留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する</p> <p>③留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する</p> <p>●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年 AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる</p>

JFAM みちのく応援奨学金

（“JFAM Michinoku” Scholarship）

奨学金支給 法人・団体	JFアセット・マネジメント 有志一同
趣旨	香港に本拠を置くJFアセット・マネジメントは、東日本大震災と福島原発事故により大きな被害を受けた地域の中・長期的な復興を支援するため、地域と世界をつなぎつつ地域の未来を担う人材を育成することと、被災地の高校生に異文化体験の機会を提供することにより夢を与えることを目的として奨学金の支給を行う
対象	東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地 [*] に居住又は在学していた者で、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者 ※ 被災地 青森県・岩手県・宮城県・福島県の全域、 および茨城県・千葉県で災害救助法が適用されている以下の自治体 茨城：水戸市・日立市・土浦市・石岡市・龍ヶ崎市・下妻市・常総市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・笠間市・取手市・牛久市・つくば市・ひたちなか市・鹿嶋市・潮来市・常陸大宮市・かすみがうら市・桜川市・神栖市・行方市・鉾田市・つくばみらい市・小美玉市・東茨城郡茨城町・東茨城郡大洗町・東茨城郡城里町・那珂郡東海村・久慈郡大子町・稲敷郡阿見町・稲敷郡美浦村・稲敷郡河内町・那珂市・筑西市・稲敷市・北相馬郡利根町 千葉：旭市・香取市・山武市・山武郡九十九里町・千葉市美浜区・習志野市・我孫子市・浦安市 (2011/5/9時点)
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	1名
奨学金支給額	AFSプログラム参加費(125万円)および25万円の留学準備金と維持会費(5,000円)+1年分の年会費(5,000円)を支給。それ以外の経費はすべて個人負担 ※留学準備金(25万円)は、プログラム参加費に含まれない諸雑費などに充てる費用。プログラム案内60ページ参照
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②学業、人物ともに優秀であること ③AFS日本協会が経済的必要度が高いと判断する者 ④国際相互理解、国際友好、異文化体験に興味と意欲があること ⑤健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑥本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと

応募の手順と提出書類	<p>「2013年 AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接 AFS日本協会に提出する</p> <p>①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー（2部）を郵送。コピー1部は本人控え</p> <p>②被災状況通知書（本冊子巻末） 奨学金を希望する理由（被災の状況との関連で）を、経済的状況も含め、保護者が記入してください</p> <p>③作文 テーマ：震災の体験を踏まえて、自分の将来設計に留学体験をどう生かすかについて述べてください。被災地の復興に絡めた内容でも結構です。タイトル自由 文字数：800字以内（A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可）</p> <p>④東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地に居住又は在学していたことを証明するもの（在学証明書または住民票または生徒手帳のコピーのいずれか1つ） ※ジャパン・ソサエティーみちのく応援奨学金およびJFAMみちのく応援奨学金を併願する場合、上記②～④の書類は流用可（コピー不要）</p>
応募締切	<p>一般選考A日程受験者 6月 5日（火） 一般選考B日程受験者 7月10日（火） 一般選考C日程受験者 9月25日（火） 一般選考D日程受験者 11月 6日（火）</p> <p>※当日消印有効 ※但し、A・B日程で定員に達した場合には、C・D日程での応募は受付ません</p>
選考方法	<p>本奨学金に応募し、2013年 AFS年間派遣プログラムの一般選考（A日程：6月17日またはB日程：7月22日またはC日程：10月8日またはD日程：11月18日のいずれか）に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と提出書類に基づき、奨学金の受給者を決定します</p>
奨学金支給 選考結果通知	<p>A・B日程受験者：2012年 8月下旬予定 C日程受験者：2012年11月上旬予定 D日程受験者：2012年12月上旬予定 （AFS日本協会より本人宛に通知します）</p>
その他	<p>●奨学生の義務</p> <p>①2012年9月2日実施予定の授与式に出席すること。詳細については合格者に通知する。 C・D日程以降の合格者には、別途通知予定</p> <p>②留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する</p> <p>③留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する</p> <p>●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年 AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる</p>

財団法人田口福寿会奨学金

（“Taguchi” Scholarship）

奨学金支給 法人・団体	財団法人田口福寿会
趣旨	本奨学金は1985年に財団法人田口福寿会のご理解とご支援により設立されたもので、岐阜県の青少年を海外に派遣することにより、国際相互理解と友好を促進し、未来の岐阜県と日本を担う人材を育成することを目的としています
対象	岐阜県内在住で、県下の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者
留学期間	約10ヶ月間（派遣先国により異なります） *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	10名以内
奨学金支給額	AFSプログラム参加費の一部として、各50万円を支給 ※50万円を超える参加費およびそれ以外の経費（選考手数料、パスポート・ビザ取得費、国内交通費など）はすべて個人負担
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」（『プログラム案内』53ページに記載）を有し、選考試験（一般選考）に出願していること ②学業・人物ともに優秀であること ③国際相互理解、異文化体験に興味と意欲があること ④健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適應できること
応募の手順と 提出書類	「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー（2部）を郵送。コピー1部は本人控え ②（財）田口福寿会奨学金に関する意向確認書（本冊子巻末）
応募締切	一般選考A日程受験者 6月 5日（火） 一般選考B日程受験者 7月10日（火） 一般選考C日程受験者 9月25日（火） ※当日消印有効 ※指定校推薦受験予定者で（財）田口福寿会奨学金申込を希望する方は、事前に名古屋事務所までお問い合わせください
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考（A日程：6月17日またはB日程：7月22日またはC日程：10月8日のいずれか）及び指定校推薦に合格した者を対象に、岐阜県教育委員会の参画を得てAFS日本協会による面接選考を10月中旬に実施する ※指定校推薦については、9月末日までに合格した者が対象
奨学金支給 選考結果通知	2012年11月上旬予定（AFS日本協会より本人宛に通知します）
その他	●奨学生の義務 帰国後、留学体験レポートを田口福寿会へ提出する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる

AFSひろしま奨学金

(AFS “Hiroshima” Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	AFSひろしま奨学金
趣旨	本奨学金は広島県を愛し応援する個人と企業の支援により設立されたもので、AFS年間派遣プログラムを通じて広島県の高校生を海外に派遣することにより、青少年の国際相互理解と国際友好を促進し、未来の広島県と日本を担う人材を育成することを目的としています
対象	広島県内在住で、県下の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	1名
奨学金支給額	AFSプログラム参加費の一部として、50万円を支給 ※50万円を超える参加費およびそれ以外の経費(選考手数料、パスポート・ビザ取得費、国内交通費など)はすべて個人負担
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②学業、人物ともに優秀であること ③国際相互理解、異文化体験に興味と意欲があること ④健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適應できること ⑤本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと
応募の手順と 提出書類	「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー(2部)を郵送。コピー1部は本人控え ②作文 テーマ:「広島・私・世界」 文字数:800字以内(A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可)
応募締切	一般選考A日程受験者 6月 5日(火) 一般選考B日程受験者 7月10日(火) ※当日消印有効
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考(A日程:6月17日またはB日程:7月22日)に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と作文に基づき、奨学金の受給者を決定します
奨学金支給 選考結果通知	2012年8月下旬予定(AFS日本協会より本人宛に通知します)
その他	●奨学生の義務 ①留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する ②留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる

オデッセイ IT 奨学金

(The Odyssey IT Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ
趣旨	株式会社 オデッセイ コミュニケーションズは、コンピュータやインターネットを使いこなすための知識とスキルを測るIT資格の試験の実施・運営を事業としています。本奨学金は、株式会社 オデッセイ コミュニケーションズの社会貢献活動の一環として、「AFS年間派遣プログラム」を通じて海外の高校に日本の高校生を派遣することにより、青少年の国際相互理解と国際友好を促進し、ITスキルと国際コミュニケーション能力を併せ持つ人材の育成と、社会のリーダーの育成を図ることを目的としています
対象	日本全国の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	4名
奨学金支給額	AFSプログラム参加費の一部として、各50万円を支給 ※50万円を超える参加費およびそれ以外の経費(選考手数料、パスポート・ビザ取得費、国内交通費など)はすべて個人負担
応募資格	次のすべての条件を満たしていること ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②(株)オデッセイ コミュニケーションズが実施するIT資格のうち、マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS)、IC3 (アイシースリー)、VBAエキスパートのいずれかの資格を取得、または、IT分野における国家資格(注1:その他の欄に記載)の取得のいずれかによってITスキルを証明できる書類を提出できる者 ③学業、人物ともに優秀であること ④国際相互理解や異文化体験に興味と意欲があること ⑤健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑥本プログラム参加にあたり他の奨学金を受給していないこと
応募の手順と 提出書類	「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 ※原本およびコピー(2部)を郵送。コピー1部は本人控え ②応募資格の資格取得が証明できる書類のコピー(合格認定証など)(1部) ※資格取得が証明できる書類がない場合、申込みは認められません ③成績証明書または通知表コピー ※中3生は、中学1・2年分と応募時点で発行されている中学3年分 ※高1生は、中学2・3年分と応募時点で発行されている高校1年分 ※高2生は、中学3年、高校1年分と、応募時点で発行されている高校2年分 ④保護者の収入金額等の合計が700万円を超えないことを証明する直近の証明書(源泉徴収票または課税証明書のいずれか)のコピー ⑤作文 テーマ:「私の夢」 文字数:800字以内(A4サイズの横書き原稿用紙を使用。ワープロでも可)

応募締切	一般選考A日程受験者 6月 5日(火) 一般選考B日程受験者 7月10日(火) 一般選考C日程受験者 9月25日(火) ※当日消印有効 ※但し、A・B日程で定員に達した場合には、C日程での応募は受付ません
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考(A日程：6月17日またはB日程：7月22日またはC日程：10月8日のいずれか)に合格した者の中から、提出書類に基づき(株)オデッセイ コミュニケーションズが奨学金の受給者を決定します
奨学金支給 選考結果通知	A・B日程受験者：2012年 8月下旬予定 C日程受験者：2012年11月上旬予定 (AFS日本協会より本人宛に通知します)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●奨学生の義務 <ul style="list-style-type: none"> ①出発前および帰国後に(株)オデッセイ コミュニケーションズを表敬訪問する ②留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する ③留学中ならびに帰国後のレポート提出などを通じて広報活動に参画する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる ●(株)オデッセイ コミュニケーションズが実施する「IT資格」に関するお問合せ先 株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ カスタマーサービス TEL. 03-5293-1881 (受付時間：平日10時～18時) FAX. 03-5293-1887 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1 ●「IT分野における国家資格」(注1)とは、下記の国家試験に合格していることを指します 各試験制度に関する詳細情報は、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) の公式サイトに掲載内容をご確認ください[出典：独立行政法人 情報処理推進機構 公式サイト より抜粋] ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報セキュリティスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、システム監査技術者試験

AFS ボランティア奨学金

(AFS Volunteer Scholarship)

奨学金支給 法人・団体	AFS ボランティア奨学金
趣旨	経済的必要度の高いAFS留学生を助成することを目的としています
対象	日本全国の高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程および中学校に在学していて、公益財団法人AFS日本協会の年間派遣プログラムに応募し、高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程在学中に海外留学を希望する者 成績優秀かつ経済的必要度の高い者
留学期間	約10ヶ月間(派遣先国により異なります) *冬組 出発 2013年1月～3月頃 *夏組 出発 2013年7月～9月頃
留学先	AFSが留学先として派遣している海外の高校
募集人数	6名
奨学金支給額	<ul style="list-style-type: none"> ●本奨学金のみ申請の場合：AFSプログラム参加費の一部として50万円(25万円支給、25万円貸与。貸与分は帰国後3年以内に返済すること) ●他の奨学金、または助成金との併願の場合(同一年度内の受給決定者に限る) <ul style="list-style-type: none"> *他の奨学金、助成金がプログラム参加費の一部に充てられる場合、差し引き残高に対し、50万円を限度として支給・貸与する *他の奨学金、助成金によりプログラム参加費の全額が支払われる場合は、対象外 *詳細は、各団体にお問合せください
応募資格	<ol style="list-style-type: none"> ①2013年AFS年間派遣プログラムの「応募資格」(『プログラム案内』53ページに記載)を有し、選考試験(一般選考)に出願していること ②成績優秀かつ経済的必要度が高いこと ③国際相互理解、異文化体験に興味と意欲があること ④健康で、留学先でのホームステイおよび学校での学習に適応できること ⑤保護者の給与等の年間収入金額の合計額が1,000万円以下であること ⑥受給し帰国後、3年以内に本奨学金の貸与分(25万円)を返済すること
応募の手順と 提出書類	<p>「2013年AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒に、以下の書類を、各自で直接AFS日本協会に提出する</p> <ol style="list-style-type: none"> ①奨学金申込書および奨学金申込予定通知書 <ul style="list-style-type: none"> *原本およびコピー(2部)を郵送。コピー1部は本人控え ②保護者の給与等の年間収入金額などの合計額が1,000万円を超えないことを証明する、直近の証明書(源泉徴収票または課税証明書のいずれか)のコピー
応募締切	<p>一般選考A日程受験者 6月5日(火) 一般選考B日程受験者 7月10日(火)</p> <p>*当日消印有効</p>
選考方法	本奨学金に応募し、2013年AFS年間派遣プログラムの一般選考(A日程：6月17日またはB日程：7月22日)に合格した者の中から、AFS選考試験の結果と提出書類に基づき、奨学金の受給者を決定します
奨学金支給 選考結果通知	2012年8月下旬予定(AFS日本協会より本人宛に通知します)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●奨学生の義務 <ol style="list-style-type: none"> ①留学中に1回、および帰国後、留学体験レポートをAFS日本協会に提出する ②留学中ならびに帰国後のレポートの提出などを通じて広報活動に参画する ●留学先の決定や渡航手続等に関しては、「2013年AFS年間派遣プログラム」の参加規程に準じる

在日米国大使館 御中
公益財団法人 AFS 日本協会 御中

アメリカ大使館高校生留学奨学金 家族状況通知書

年 月 日

生徒氏名： _____

家族状況

家族の氏名	続柄	年齢	職業 (勤務先/在学名)	同居	別居	備考

※同居・別居のいずれかに○

--	--	--	--

公益財団法人A F S日本協会
理事・事務局長 高田 祐三 殿

財団法人田口福寿会奨学金に関する 意向確認書

(受験生氏名) _____ は、(該当する記号をひとつだけ○で囲んでく
ださい)

1. 標記奨学金が受給できない場合は、公益財団法人A F S日本協会の年間派遣プログラムに参加しません。
<標記奨学金の受給が認められなかったことが判明し次第速やかに公益財団法人A F S日本協会にプログラム参加辞退の連絡をし、所定の書式により辞退届を提出します。>
2. 標記奨学金が受給できない場合でも、公益財団法人A F S日本協会の選考基準に達している場合には、自己負担で、公益財団法人A F S日本協会の年間派遣プログラムへの参加を希望します。

年 月 日

(受験生氏名) _____ 印

(保護者氏名) _____ 印



公益財団法人 AFS日本協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 7F

TEL : 03-6206-1911(代表)、03-6206-1919 (奨学金担当)

フリーダイヤル : 0120-51-0173

FAX : 03-3507-4300

東日本事務所

〒105-0001
東京都港区虎ノ門
1-22-14
ミツヤ虎ノ門ビル 7F

TEL : 03-6206-1915
FAX : 03-3507-4300
E-mail : info-east@afs.or.jp

名古屋事務所

〒468-0051
愛知県名古屋市天白区植田
1-2116

TEL : 052-807-7338
FAX : 052-807-7349
E-mail : info-nagoya@afs.or.jp

大阪事務所

〒564-0027
大阪府吹田市朝日町
3-405

TEL : 06-6317-3955
FAX : 06-6317-3977
E-mail : info-osaka@afs.or.jp

<http://www.afs.or.jp/>

奨学金申込書および奨学金申込予定通知書

生徒氏名： _____

保護者氏名： _____ 在 学 校 名： _____

住 所： 〒 _____

※原本およびコピー(2部)郵送。コピー1部はご自身で保管してください

奨 学 金 申 込

- 申込をする奨学金には、申込欄に○をつけてください
- 本紙と各奨学金で定められている提出書類を、「AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒にAFS日本協会に提出してください

申込	奨 学 金	提出書類 (□にチェックをしてください)
	アメリカ大使館高校生留学奨学金	<input type="checkbox"/> 保護者の直近の財政状況を証明するもの (課税証明書のコピー) * 所得合計が記載されていること <input type="checkbox"/> 家族状況通知書
	AFSどさんこ奨学金	<input type="checkbox"/> 作文
	みちのく応援奨学金	<input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 被災状況通知書
	ジャパン・ソサエティーみちのく応援奨学金	<input type="checkbox"/> 東日本大震災および福島原発事故発生時に被災地に居住又は 在学していたことを証明するもの (在学証明書または住民票または 生徒手帳のコピー)
	JFAMみちのく応援奨学金	
	田口福寿会奨学金	<input type="checkbox"/> 意向確認書
	AFSひろしま奨学金	<input type="checkbox"/> 作文
	オデッセイIT奨学金	<input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> (株)オデッセイ コミュニケーションズが実施するIT資格またはIT 分野における国家資格の資格取得が証明できる書類のコピー (合格認定証など) <input type="checkbox"/> 成績証明書または通知表コピー <input type="checkbox"/> 保護者の収入金額等の合計が700万円を超えないことを証明する 直近の証明書のコピー (源泉徴収票または課税証明書)
	AFSボランティア奨学金	<input type="checkbox"/> 保護者の年間収入金額等の合計が1,000万円を超えないことを 証明する直近の証明書のコピー (源泉徴収票または課税証明書)

奨学金申込予定通知

- 申込する予定の奨学金支給法人・団体には、申込予定欄に○をつけてください
- 本紙を、「AFS年間派遣プログラム選考試験申込書」と一緒にAFS日本協会に提出してください
- 以下の奨学金は、AFS宛に本紙を送付しただけでは奨学金の申込をしたことにはなりません
- 奨学金の申込と申込に関わる手続き等については、各奨学金支給法人・団体の定める方法に従って行ってください
- 本紙提出後、予定に変更があった場合はすぐにAFS日本協会までお知らせください

申込予定	奨学金支給法人・団体または奨学金名
	(公財)新潟市国際交流協会
	(財)長岡市米百俵財団
	小松市
	(財)福岡市教育振興会
	佐賀県(全額貸与)
	イトーヨーカドースカラシップ

申込予定	奨学金支給法人・団体または奨学金名
	小川奨学財団
	ソニーグループ国際教育基金

事務局記入欄